

【1面から】協議が実現するように働きかけをしてほしいとする陳情書が提出されています。

櫻県議は、「県は、県民に開かれた場で、協議すべきだ」と主張しました。  
※②・③項は次号に続く

## 三豊市議選に岩田ひでき氏

三豊市議会選挙は来年1月18日に告示、25日投票でたたかれ、日本共産党が市議選は、定数20（前回から2減）を33人（現職19新人14）が争う多数激戦の様相。自民党が大量立候補で議席増を狙い、国民民主党や維新の会が初議席に挑戦します。

日本共産党三豊市委員会がおこなった1万人市民アンケートにはつざつざと回答が寄せられ、5割を超える人が「生活が苦しい」とこたえ、9割の人が生活不安を訴えています。

岩田市議はこれまで、三豊市の農業の中心である養鶏業が、鳥インフルエンザで壊滅的な被害を受けた際、白川よう子四国ブロック国政対策委員長（当時）と協力して国政にはたらきかけ、関連業者まで救済する制度を実現させました。さらに消費税の5%減税の意見書の採択や、18歳までの医療費無料化、パートナーシップ宣誓制度の実現など県下の要求実現の先頭に立つ

てきました。いま三豊市は、学校や公民館の統廃合による「自治体リストラ」をすすめ、教育や地域のぐらしに悪影響が生まれています。岩田議

## 給特法

香川県教職員組合（香教組）は11月15日、かがわ総合リハ福祉センターで学習交流集会「みんなで考える学校の『働き方改革』」を開き、教職員や市民およそ30人が参加しました。全日本教職員組合（全教）の板橋由太朗中央執行委員（東京都小学校教諭）が、「このままでは学校がもたない～改定給特法と『主務教諭』

のねらいは業務の効率化」と答弁しているが、「主任教諭」を入れている東京都の教職員の月の時間外労働は114時間と、全国平均を18時間も上回っていることも報告されました。板橋さんは



## 県民医連が平和病院前でストライキ

香川県の消費税廃止各界連絡会と消費税をなくす会は11月26日、高松市の商店街で宣伝し、消費税減税と夜勤労働の削減など待遇改善を求めストライキをしました。参加者はリレートークで物価の高止まりと実質賃金

の低下で家計が圧迫されているとして「消費税率の5%以下への引き下げで家計を応援するべきだ」と訴えました。導入から2年のインボイス制度では小規模事業者やフリーランスから「納税のために借金した」「負担を軽減する特例措置が終了したら廃業せざるを得ない」などの悲痛な声が上がっている強調。社会

## 消費税減税・インボイス廃止を各界連絡会となくす会が街頭宣伝

医連のメンバーや看護師、薬剤師など約30人が参加するなか、「診療報酬の改定も物価上昇や資材高騰に追いつかない」、「人員不足などで現場の負担は限界で地域医療の崩壊が現実味を

感じています。医連の三崎浩一書記長は、「医療・介護・福祉の仕事は、とてもやりがいがあり誰もが安心して働き続けられる職場環境を作り、患者見合った賃金を勝ち取り、誰へより良いケアを届けるために共に頑張ろう」と述べました。日本共産党の岡田みなみ藤沢やよい両高松市議が参加しました。

## 県医労連が県に申し入れ

参加した40代女性は「インボイスの2割特例と8割控除が終わると事業者に負担が増える。インボイス廃止が目標だが、せめて特例を延長をしてほしい」と語りました。通りがかった人が「私も同感だ」と署名に応じました。日本共産党の藤沢やよい市議が参加しました。

香川県医療労働組合連合会が香川県庁で、池田豊人県知事あてに申し入れを行いました。参加者は「医療の現場は3K（きつい・汚い・危険）から増えて、9K、10K（給料が安い帰れない、休暇が取れない、婚期が遅いなど）になっている」「経営が困難で人員が全く足りない。ただ人間らしく働ける環境を整える」と語りました。日本共産党の櫻昭一香川県議が同席しました。

した。医連のメンバーは、看護師、薬剤師など約30人が参加するなか、「診療報酬の改定も物価上昇や資材高騰に追いつかない」、「人員不足などで現場の負担は限界で地域医療の崩壊が現実味を

の低下で家計が圧迫されているとして「消費税率の5%以下への引き下げで家計を応援するべきだ」と訴えました。導入から2年のインボイス制度では小規模事業者やフリーランスから「納税のため

に借金した」「負担を軽減する特例措置が終了したら廃業せざるを得ない」などの悲痛な声が上がっている強調。社会

の低下で家計が圧迫されているとして「消費税率の5%以下への引き下げで家計を応援するべきだ」と訴えました。導入から2年のインボイス制度では小規模事業者やフリーランスから「納税のため

に借金した」「負担を軽減する特例措置が終了したら廃業せざる